

廃止措置中の原子炉

原子炉の種類・名称		熱出力	燃料の状況	現行の賠償措置額	合理化の適用見込み
試験研究炉	原子力第1船むつ	3万6千kW	サイト外搬出済み	600億円	20億円で低減
	東芝教育訓練用原子炉 TTR	1万kW	サイト外搬出済み	—	同一サイト内に他の施設がある。
	武蔵工業大学炉	100kW	サイト外搬出済み	20億円	事業行為時から低額の賠償措置額であり、合理化の対象外
	日立教育訓練用原子炉 HTR	100kW	サイト外搬出済み	20億円	事業行為時から低額の賠償措置額であり、合理化の対象外
	立教大学炉	100kW	サイト外搬出済み	20億円	事業行為時から低額の賠償措置額であり、合理化の対象外
	JRR-2 (東海研究開発センター)	1万kW	サイト外搬出済み	—	同一サイト内に他の施設がある。
	高温ガス炉臨界実験装置 VHTRC (東海研究開発センター)	0.01kW	炉心から取出済み	—	同一サイト内に他の施設がある。
	重水臨界実験装置 DCA (大洗研究開発センター)	1kW	炉心から取出済み	—	同一サイト内に他の施設がある。
研究開発段階炉	新型転換炉ふげん発電所	55万7千kW	炉心から取出済み	600億円	120億円で低減
実用炉	東海発電所	16.6万kW	サイト外搬出済み	—	同一サイト内に他の施設がある。

賠償措置額が120億円の核燃料物質の使用が行われているサイト

事業所	賠償措置の対象物質		現行の賠償措置額	合理化の適用見込み
	許可数量	搬出の状況		
日本核燃料開発(株) 核燃料物質使用施設ホットラボ	一定量以上	—	120億円	一定量以上の使用を継続している。
(財)核物質管理センター 東海保障措置センター	一定量未満	サイト外搬出済み	120億円	20億円で低減
ニュークリア・デベロップメント(株)	一定量以上	—	120億円	一定量以上の使用を継続している。
(独)産業技術総合研究所	一定量以上	—	120億円	一定量以上の使用を継続している。
国立大学法人東京工業大学 核燃料貯蔵管理室・原子炉工学研究所	一定量未満	搬出予定	120億円	20億円で低減
(財)核物質管理センター 六ヶ所保障措置センター	一定量以上	—	120億円	一定量以上の使用を継続している。

※1 同一サイト内に他の加工・再処理等の施設があるものは除く。

※2 一定量とは、5%以上濃縮ウラン中のウラン235は800g、プルトニウムは500g。